



山下 賢太 (やました けんた) 1985年里町に生まれる。JRA日本中央競馬会競馬学校を中退後、京都造形芸術大学環境デザイン学科へ進学。民間企業を経て24歳で甌島にUターン。本年「山下商店」を法人化し、社名を「東シナ海の小さな島ブランド株式会社」に変更。26歳。

輝創 情熱

ひとのチカラ

このコーナーでは、夢に向かって情熱を持ち続けながら、明日の薩摩川内市を創る、元気人、輝き人のこれまでとこれからを紹介します。

第1回は、山下賢太さんです。

甌島で生きる

「向こうでがんばってる賢ちゃんもいいけど、やっぱり島にいる時の賢ちゃんが好き。」と笑顔で語りかけてくれた近所のおばあちゃんの一言が、故郷甌島に帰って来ようと思っていた自分の背中を押してくれた。平成16年から開催され、企画運営に携わっている「甌アートプロジェクト」の反響が大きくなればなるほど、島の人達から受ける「外のひと」という見えないプレッシャーとの間にジレンマを感じ始めていた時だった。当時勤めていた京都の会社を辞め、約3年前に甌島にUターンした。帰郷して最初に手を付けたのが、後

「自分に与えられた使命は、単に収穫した米を販売することではなく、島で行われる作業や風景、それまでのプロセス全てを含めた『米作り』を売るといふこと。」

現在、新事務所となる古民家を改修準備中で、来年度数人の雇用も予定している。「島に帰って来たいと思う子どもたちもいる。ただ島の現実には厳しいのは確か。帰って来れるためのハードルを少しでも下げてあげられたい。今は明かせませんが、そのための仕組みづくりを構想中です。」

甌島の美しい風景を創る

仕組みづくり

雨の音を聞きながら家でゆっくり読書をしよう

今月は 祁答院分館からの おすすめ!!

児童書



しげちゃん 室井 滋 作 長谷川 義史 絵 (金の星社)

男の子みたいな名前のせいで、しょっちゅういやな目にあっている小学1年生の女の子しげちゃん、お母さんに「もっとかわいい名前にかえてよ」と言いますが…

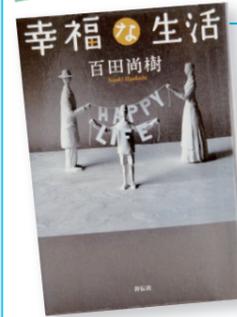
あめぼったん

ひろかわ さえこ 著 (アリス館)



あめあめぼったん、あめぼったん。葉っぱの上に、あめぼったん。雨の好きなかつむりやみみずさん、池の中からはかえるさんが出てきて…

一般書



幸福な生活 百田 尚樹 著 (祥伝社)

素直に育った子どもたち、理想的な妻。思い描いていたレールをそのまま歩き、順風満帆な人生を送っていたはずの男は…

ホテル・ピーベリー

近藤 史恵 著 (双葉社)



ある男が、訳あってロングステイで訪れたハワイ。宿泊場所には他に日本人の客があり、そのうちの1人が言った「楽しみにしてろよ」と…

利用者の声

図書館をよく利用される佐々木さんにお便りをいただきました。

最近、祁答院分館では、小さな子どもさんと一緒に絵本を探すお母さん方をよく見かけます。きつと家で読み聞かせなどを楽しんでいらつしやるのではないのでしょうか。

祁答院の図書館の利用を始めて約4年になります。最初は自分の興味のある本を、子どもが生まれてからは、絵本を借りることが多くなりました。手持ちの絵本だけでは、読む私が飽きてしまつたということもあり、毎週のように図書館を利用しています。もうすぐ4歳になる息子は、図書館に行くこと、本を読んでもらうことが大好きです。時には膝の上で、そして、毎晩の日課である寝る前に枕を並べて、絵本を読んであげます。子どもを持つことがなかったら知らなかつたであろう絵本との出会い、絵本を通しての親子のスキンシップは私の喜びです。いつまで私のところに「本を読んで」と、来てくれるか分かりませんが、来てくれる限り読んであげたいと思います。子育てを終えてからも、図書館を利用し続けたいです。 祁答院の図書館は小さいけれど、私たち親子にはワクワクがたくさんつまっている場所です。



毎月23日は 子どもと一緒に読書の日

Table with 2 columns: Branch Name and Phone Number. Includes Central Library, Nishino Branch, etc.

定期子ども映画会 6月22日(金)16時から 所 中央公民館3階和室 内容 子ども向け映画の上映 対象 小学生以下 定員 先着30人 入場料 無料 問合先 視聴覚ライブラリー(中央図書館内)

お知らせ 中央図書館休館のご案内

中央図書館では、年に1度、蔵書の所在状況の点検・照合および書架整理のため「特別図書整理期間」として次の期間休館します。市民の皆さまには大変ご迷惑をお掛けしますが、ご理解をお願いします。 6月18日(月)〜28日(木) 問合先 中央図書館



「島米」は食卓に並ぶさまざまなおかずの引き立て役になっている。自分も島と島を想う人を繋ぐコーディネート役に回るため、米作り3年目の今年、「東シナ海の小さな島ブランド株式会社」を設立した。米だけでなく、椎の木の原木で栽培したシイタケ、島ミカンや椿油を混ぜ合わせたオーガニック石鹸なども販売しており、これらも人気商品のひとつになった。